

JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA) 通信 第 3 号

【事務局より】

本格的な夏到来です。猛暑に備え、熱中症にお気をつけください。

8月28日～30日に第7回アフリカ開発会議 (TICAD7) が横浜で開催されます。JICA では TICAD7 の食と農の分野におけるサイドイベントとして、アフリカ稲作振興のための共同体 (CARD)、食と栄養のアフリカ・イニシアティブ (IFNA)、市場志向型農業振興 (SHEP)、アフリカにおける人畜共通感染症との闘いの 4 つを開催します。イベント詳細・参加登録は[こちら](#)からお願いいたします。

++++ ☆ 本号のラインアップです ☆ ++++++

1. TICAD7 でサイドイベントを行うプログラムの概要紹介 (CARD/IFNA/SHEP/アフリカにおける人畜共通感染症との闘い)
2. JICA からの情報提供 (最貧国タンザニアを変えた希望のコメ/中南米フードバリューチェーン現地共同調査参加企業の募集 / 中南米日系社会との連携調査団募集 / 中南米部主催「ビジネスネットワーキング会合」/ アルゼンチン一村一品技術協力プロジェクト)
3. 会員様からのご案内 (UNIDO 東京様)

+++++

1. TICAD7 でサイドイベントを行うプログラムの概要紹介

(1) [アフリカ稲作振興のための共同体 \(CARD\)](#)

2008年に開始された本プログラムは10年で稲収量倍増を目標として発足しました。10年後、この目標は達成されました。しかしながらアフリカの急激な人口増加や人口の集中が見られる都市部における主食の嗜好の変化により、コメ消費量の伸びは生産量の伸びを上回っています。CARD ではこの状況に対応するため、TICAD7 において、2030年までに更なる倍増を新たな目標とする第二フェーズの立ち上げを宣言する予定です。

(2) [食と栄養のアフリカ・イニシアティブ \(IFNA\)](#)

アフリカの食料不足人口は2.2億人を超え、慢性栄養不良の子どもが近年増加しています。2025年の子ども(5歳未満)の人口は2億人と推定され、すべての子どもの「栄養の安全保障」が強く望まれています。IFNA では2025年までに全アフリカの栄養改善を目指しています。

(3) [市場志向型農業振興 \(SHEP\)](#)

フードバリューチェーンにおいては一般的に川上にある生産者(農家)よりも、消費者に近く情報面でも有利な川下にある販売者が市場に大きな力を及ぼす傾向にあります。SHEP ではこのような[チェーン間の情報の不均衡改善](#)のため、農家自らによる市場の把握を取り入れました。SHEP のパイロット国となったケニアでは開始からわずか2年間で2,500戸の小規模農家の収入倍増を実現しました。今後はSHEPの広域化、SHEPアプローチの普及ツールとしての「ふつう」化により、100万人の農家の生計向上を目指しています。

(4) アフリカにおける人畜共通感染症との闘い

アフリカにおいては人畜共通感染症の突発的な流行が深刻な状況にあるにもかかわらず、同分野における専門的施設・人材能力は不十分な状況です。この課題解決に向け、我が国及び国際獣疫事務局の連携により、研究能力向上を目指した支援が期待されています。

2.JICA からの情報提供

(1) タンザニアの農業開発に挑戦しつづけた人の話

日本三大民謡の一つにも数えられる福島県の民謡「会津磐梯山」の歌詞は、「会津磐梯山は宝の山よ」で始まります。アフリカ大陸最高峰のキリマンジャロが持つ宝（雪解け水に涵養された水資源）に着目して水稲作協力をしてきた日本。この協力には大勢の専門家が長年携わり、農民の生活水準向上に挑戦しつづけてきました。今回はそれらの専門家の方々の中から、お一方の体験事例を紹介します。[最貧国タンザニアを変えた「希望のコメ」](#)をご覧ください。

(2) 「中南米地域広域・フードバリューチェーン強化における本邦技術活用のための情報収集・確認調査」現地共同調査の募集

JICA 農村開発部では、中南米地域の FVC 強化に向けた課題、同課題の解決に資する日本の技術・ノウハウ等の情報の収集・分析を目的とした「中南米広域フードバリューチェーン強化における本邦技術活用のための情報収集・確認調査」を実施しております。

2019 年 10 月中旬より、現地調査で確認された FVC に関わる有望現地企業・業界団体など情報の共有、および将来のビジネス展開の可能性の分析・検討を行うべく、受注コンサルタントチーム（株式会社パデコ）と共に現地で共同調査を実施いたします。つきましては、対象調査国の FVC とのビジネス連携に関心を持たれる企業、特定された技術・サービス・ノウハウをお持ちの企業の現地共同調査への参加を募集いたします。多くのご応募をお待ちしております。

募集締切り：8月9日

募集詳細：https://www.jica.go.jp/event/191123_01.html

(3) [第9回中南米日系社会との連携調査団（ブラジル、ポリビア派遣）](#)の参加者募集

日系社会を入り口として、日本の民間企業との連携促進により現地の開発課題解決への貢献と南米での事業展開に関心のある民間企業を対象に調査団を派遣します。航空賃（航空券）及び現地の宿泊と移動に係る経費は JICA が負担します。募集期間は9月27日までです。

(4) [中南米部主催「ビジネスネットワーキング会合」](#)

JICA 中南米部は、9月6日に「中南米ビジネスネットワーキング会合」を開催予定です。

当日は開発のプロフェッショナルである各国拠点長 23 名が集結し、ラテンアメリカでのビジネス展開にご興味のある皆様からのご相談に、真摯に現場感をもってお答えします。

ネットワークを拡大する機会にもなりますので、奮ってご参加ください！

日時：2019年9月6日（金）16：00 - 20：30

*ネットワーキングのためのレセプション時間も含まれます。

場所：JICA 竹橋 竹橋合同ビル

また、当日は8社限定で、ピッチ（プレゼンテーション）イベントも予定させていただきます。

経験豊富な全 23 拠点長を前に貴社の製品の可能性を探ってみませんか？

ピッチ参加ご希望の方は上記参加お申込みに合わせて「ピッチ希望」とお知らせください

（※JIPFA 事務局ではなく中南米部です）。改めてより詳しい参加要項をお送りします。

(5) アルゼンチンにて一村一品の技術協力プロジェクトを開始

7月5日、JICA はアルゼンチンで一村一品など日本の地域開発の手法を用いて地域のブランディング化を行う技術協力プロジェクト開始のイベント行いました。プロジェクト期間中にはアルゼンチン5州（ブエノスアイレス州、カタマルカ州、サルタ州、ミシオネス州、チャコ州）の地域の資源を用いた農産加工品や工芸品・観光サービス等の開発を行い、日本での研修の機会を利用して日本の企業・自治体とのマッチングを行う予定です。これからも情報発信していきますので、どうぞご期待ください。

*JICA 広報室 facebook

<https://www.facebook.com/jicapr/posts/2267452589957542>

*twitter

https://twitter.com/jica_direct/status/1153494931391971328

3.会員様からのご案内

会員様から共有されたい情報（例：セミナー、発表会、フォーラム）がございましたら、JIPFA 事務局（メールアドレス）まで情報をお送りください。

内容を確認の上、JIPFA 通信でご案内させていただきます。なお、情報提供の締め切りは毎月15日とさせていただきます。以下、今回のご案内です。

☆☆…★…☆☆◆☆☆…★…☆☆◆☆☆…★…☆☆◆☆☆…★…☆☆◆☆☆…★…☆☆

マッチングプラットフォームのご案内（[UNIDO 東京事務所様](#)）

持続可能な産業発展につながる日本企業の優れた技術やノウハウを登録（審査があります）し、開発途上国・新興国への普及を促進するプラットフォーム「[STePP](#)」（ステップ：英語名－Sustainable Technology Promotion Platform／日本語名－サステナブル技術普及プラットフォーム）を運営しています。登録技術に対しては、ウェブサイトや展示会等でプロモーションを支援し、日本企業の優れたサステナブル技術を開発途上国・新興国に情報提供している他、技術を求める国々とのマッチングを促進しています。アグリビジネス関連では以下のような技術を求めています。

大分類	中分類	技術の例
アグリビジネス関連技術 ※食品・飲料そのものを除く	食品・飲料バリューチェーン	食品・飲料の加工、品質管理
	生産性の向上	土壌改良剤
	気候変動への適応	ドリップ灌漑システム
	水資源の確保	淡水貯蔵システム、海水淡水化

・Web ページ：http://www.unido.or.jp/activities/technology_transfer/technology_db/

・問い合わせ：UNIDO 東京事務所 e-mail:itpo.tokyo@unido.org / TEL: 03-6433-5520

～その他連絡事項～

・関心のある方がいらっしゃいましたら本通信を転送、共有を是非お願い致します。

※転送、共有により、JIPFA の各分科会に参加を希望される方には予め会員登録をお願いしております。

分科会の結果は[ホームページ](#)上で適宜一般公開いたしますが、会への議題提案、質疑応答への参加等は会員の方に限定させていただきます。

JiPFA 事務局（JICA 農村開発部内）

jipfa@jica.go.jp

03-5226-8409

[JiPFA ホームページはこちら](#)
